

# 新横須賀市史 別編 民俗

B5判八五九頁／価格(税込)四、〇〇〇円



マイワイ(万祝) 横須賀市自然・人文博物館所蔵

「市民の暮らし」  
の歴史がわかる  
一冊!



よこすかみこしパレード

第13回配本

編集・発行 横須賀市

## 【「別編 民俗」の購入方法】

### 直接購入される方

横須賀市役所 本庁舎 1階 市政情報コーナー・各行政センター・役所屋にて販売。

### 郵送でお求めの方

書籍の代金(現金)と送料(切手)を、現金書留で下記市政情報コーナー宛お送りください。

~~送料は1冊590円です。2冊以上または他の刊行物などと合わせて購入される方は、~~  
送料を市政情報コーナーへお問い合わせください。

※郵便番号・住所・氏名・電話番号・ご希望の書籍名・冊数を必ずご記入ください。

横須賀市役所 市政情報コーナー

〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11番地 電話:046-822-8186

## 【書籍の内容についてのお問い合わせ】

横須賀市総務部総務課 市史編さん係

電話:046-822-8150 FAX:046-827-4741 E-mail:shishi-ga@city.yokosuka.kanagawa.jp

ホームページ: <http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0210/shishi/shishi1-top.html>



# 新横須賀市史 別編 民俗の魅力

神輿の浜降り（佐島）



## 暮らしの歴史を知る

私たちの暮らしは、戦争や高度経済成長の前後で大きく変わりました。水道や便利な家電製品がない時代に横須賀の人々はどうのように暮らしていたのでしょうか。また、市内には船祭や道切りといった伝統的な行事が今でも見られますが、それはどのように行なわれてきたのでしょうか。本書は、こうした市民の身近な暮らしの歴史や行事のようすを、地元の方々からの聞き取りによってまとめました。

丘陵の畑（津久井）



## オカ・ハマ・マチ・都市

横須賀市は東西を東京湾・相模湾という海に囲まれ、内陸には武山や大楠山といった丘陵が見られます。また地理的な重要性から浦賀は港町として栄え、横須賀の中心部は軍港都市として発展しました。このため市内にはオカ・ハマ・マチ・都市と呼ばれるさまざまな生活環境が生まれ、それぞれ独自の暮らしぶりや行事などがはぐくまれました。本書では、それぞれの環境ごとの特徴をとりえながら記述しています。

## 目次

序章 民俗編の目指すもの

第一節 民俗編の目的と視角

第二節 横須賀というフィールド

第一章 生きる

第一節 ハマに生きる

第二節 オカに生きる

第三節 ワザに生きる

第二章 暮らす

第一節 ハマとオカにみる暮らしの立て方

第二節 住まい

第三節 着物

第四節 食べ物

第五節 「橋本家奥日記」にみる衣食住

第六節 浦賀ドックをめぐる暮らし

第七節 軍都ヨコスカの暮らしと文化

第三章 集う・遊ぶ・商う

第一節 道と往来

第二節 三浦富士に集う人々

第三節 ハマで働く女性たち

第四節 軍都と商店の賑わい

第五節 「都会」の百貨店

第四章 祝う

第一節 地域の祝い

第二節 家の祝い

第三節 個人の祝い

第四節 西浦賀の女性が語る個人の祝い

第五章 語る・遊ぶ・祈る

第一節 話の世界

第二節 子どもの遊びと暮らし

第三節 病をめぐる不安と祈り

終章 横須賀、ヨコスカ、YOKOSUKA

テーマⅠ 横須賀の文化環境

テーマⅡ 横須賀を時代で読む

テーマⅢ 「横須賀らしさ」と将来像

## 刊行計画（平成・年度）

年	書籍名	年	書籍名
15	資料編 古代・中世Ⅰ	23	通史編 近世
16	資料編 近世Ⅱ		資料編 近現代Ⅲ
17	資料編 近現代Ⅰ	24	通史編 自然・原始・古代・中世
	資料編 古代・中世Ⅱ		別編 軍事
19	資料編 近世Ⅰ	25	別編 民俗
20	資料編 近現代Ⅱ		通史編 近現代
21	別編 文化遺産	25	別編 年表
	別編 考古		



民俗以外の別編

## 新横須賀市史刊行のお知らせ

新横須賀市史は、市制施行百周年を記念して刊行する、本市初めての本格的な市史です。今回刊行の「別編 民俗」は、第13回配本になります。そのほかに、毎年一回刊行の『市史研究横須賀』（創刊号〜第12号）や、写真集、資料編 古代・中世補遺なども刊行しています。